

【感染症版BCP】

新型コロナウイルスのような、新たな感染症危機が今後発生した場合においても、感染対策や人員体制を整え、混乱なく診療を継続できるよう備える「診療継続計画」のこと

【コロナ禍を振り返ると…】

コロナ禍

様々な情報をもとに試行錯誤しながら、感染対策を行いながら通常診療を実施

ゾーニング

病床確保

消毒

物資の確保

職員の確保

労務管理

オンライン化

外部連携

メンタルケア

現在

新型コロナウイルス5類移行後も、ウイルスの性質を踏まえ、必要な感染症対策を行いながら、診療体制を構築

5年後?20年後??
100年後???

将来

新たな感染症危機が発生した時に、過去の経験（新型コロナウイルスの経験など）に基づいた対応を適切に実施できるか？

コロナ禍に
実施してきたこと



まさに感染症版BCP

**将来の感染症危機に備え、感染症版BCPとして形に残す取組を
札幌市は推進しています**

札幌市では以下の感染症版BCPの策定を支援する事業を実施

(委託事業者：一般社団法人 北海道総合研究調査会 (HIT))

【事業1】 相談窓口の設置



- ・自機関で感染症版BCPを策定したい
- ・何から手をつけていいかわからない
- ・管理者や内部に感染症版BCPの必要性を説明したい



011-222-3669

(HIT内、電話対応時間 平日 9:00 ~ 17:00)



kansen@hit-north.or.jp

【事業2】 専門家派遣事業

医療機関が策定する感染症版BCPに対して策定経験があり、感染症対応の知見が深い専門家を派遣し策定の助言を行なう

【支援内容】

- ・外部専門家によるヒアリング (課題抽出)
- ・策定手順や内容への助言 (3回程度)

【専門家】

- ・感染管理認定看護師
- ・社会保険労務士
- ・医療経営コンサルタント など

【参加費】

なし